

## 親子で楽しむ 子どもの世界

子どもは、毎日新しいことに出会い、いろいろな感覚をはたらかせ、豊かな感性を磨いています。子どもの心を動かす体験は、身近なところにあります。子どもの声に耳を傾けて、幼児期にしか出会うことのできない見方や感じ方といった子どもの世界を、親子で一緒に楽しみましょう。

何かに見立てて  
想像を膨らませて  
遊ぶ

自然の中で  
植物や生き物と  
出会う



カブトムシを探しに行こう！

自分が  
誰かの役に立つ  
喜びを感じる

くり返し  
楽しみながら  
思いを伝え合う



地域の図書館を  
活用し  
絵本に親しむ



お話し、楽しいね♪  
次はどうする？

何気なく過ぎていく日々の中には、  
子どもの成長を感じる、キラキラ輝く  
瞬間がたくさんあります♪

おすすめの本は、こちらをご覧ください



## 子どもの“すき”のサポーターとして

子どもは、自分の心が動く経験をする中で、自分の“すき”を探究していきます。その中で、自分で気付き、考え、試行錯誤し、表現しながら考え、判断する力を育んでいきます。

自分から「やってみたい」「試したい」と思える機会や場所、たっぷりの時間やタイミングよく提案するおとのんの関わりが、“すき”的きっかけになったり、“すき”を広げたりしていきます。

そっと見守ったり、励ましたり、じっくりと話を聞いたりする温かいまなざしが、子どもの支えになります。

家庭の中でも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」が  
育まれる場面がたくさんあります。

親子で心が動いた体験を、ぜひ、園や学校の先生にも伝えてください。

小学校教育へ  
つなげる

幼稚教育と  
つながる

# 学びの架け橋



みんなでつながり合って  
子どもたちを支えましょう！

5歳児から小学校第1学年の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期です。この時期を「架け橋期」と言います。

幼児期の育ちや学びの芽生えが、小学校での生活や学びへとつながる「架け橋期」は、子どもたちの心と体の成長にとって大切な時期です。

子どもたち一人ひとりが育んだ豊かな学びを、小学校でも安心して發揮できるよう、家庭・地域と各幼児教育施設や小学校等がつながり合って、共に子どもたちの育ちや学びを支えましょう。





## 幼児期の子どもたちの遊びの中には たくさんの学びがあふれています



園の先生

幼児期の子どもたちは、いろいろな人や物や出来事に出会い、心と体をめいっぱい動かし、めいっぱい考えて、関わっていきます。「こうしてみよう…、ああしてみよう…」と試し、工夫し、先生や友だちとの関わりが深まる中で、いろいろな気付きを得ていきます。

幼児教育では、小学校就学前の幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を、10の具体的な視点でとらえています。(以下、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」)

この「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を手掛かりに、幼児教育と小学校教育では、学びをつなぐ保育・授業を行っています。

健康な心と体



見て見て!  
こんなに  
高く登れたよ!

自立心



このクレヨンで  
こう塗るといいかな…

自分で考えたり、工夫したりする活動を大切にします。  
自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感を味わいながら、自信をもって行動するようになっていきます。

協同性



自分の思いや考えを相手に伝え、相手の気持ちを受け取る経験を大切にします。

子どもたちが共に協力して取り組み、充実感をもってやり遂げようとするようになっていきます。

このテープを  
使ったらいかも!

この基礎を  
大きくしよう!

道徳性・規範意識  
の芽生え



周囲の人たちと関わる経験を大切にします。

してよいことや悪いことを知り、相手の気持ちを想像したり、相手の立場に立って行動できるようになっていきます。

忍者の修行  
手伝うよ!

落ちないように  
気を付けて!

## 小学校教育では 幼児教育の学びをつなぎます



入学当初は、幼児期の生活に近い活動と学びを織り交ぜながら、子どもたちが安心して楽しく小学校生活を過ごせる工夫をしています。



小学校の先生

1年生はゼロからのスタートではありません。  
小学校に入学する子どもたちは、幼稚園・保育所・認定こども園・家庭・地域などで、いろいろな体験を通して学んできています。  
学びをつなぐことで、子どもたちの成長を促しています。



(具体的な工夫例)  
★「国語」「算数」といった教科名ではなく、「ぐんぐんタイム」など、親しみやすい時間割にしています。  
★15分程度の短い学習活動や、ゆったりとした時間で授業を構成し、弾力的に時間割を編成しています。

社会生活との  
関わり



家庭や幼稚園施設ではない外の世界との関わりを大切にします。地域の方との交流や、公共施設の利用を通して、地域に一層の親しみをもち、社会とのつながりを意識するようになっていきます。



公民館の  
館長さんだ!  
こんにちは!

お散歩で  
どんぐりを  
拾ってきたよ!

思考力の芽生え



もうちょっと  
高くしたら?

毎日の遊びの中にある、「なぜ?」「おもしろそう!」という一人ひとりの興味や関心を大切にします。  
試行錯誤する中で、自分の考えをよりよいものにしようとするようになっていきます。

勢いよく水を流すには  
どうしたらいいかな?

じゃがいもが  
たくさん採れたよ!  
いくつあるかな?

数量や図形、標識や文字  
などへの関心・感覚



遊びや生活の中で、数量などに親しんだり、標識や文字の役割に気付いて活用したりする経験を大切にします。

身近にある数や図形、文字などへの興味や関心、感覚が高まるようになっていきます。

見て見て!  
おもしろい色  
になったよ!



言葉による  
伝え合い



先生や友だちと、言葉を通して心を通わせる経験を大切にします。

豊かな言葉や表現を身に付けたり、表現を楽しんだりするようになっていきます。



今日、自分で絵本を作って  
お店屋さんをしたんだ!

見せて!  
どうやったの?

豊かな感性と表現



表現する喜びを味わえる機会を大切にします。  
感じたことや考えたことを、友だち同士で表現するようになっていきます。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」は、普段の生活や遊びの中で見られ、一人ひとりの発達に応じて育まれていきます。  
[詳しくはこちらをご覧ください→](#)

この姿は、家庭の中でも、いろいろな場面で見られます。子どもの育ちや学びの芽生えを感じながら、子どものサポーターとなって、子どもの世界を共に楽しみましょう。



これ、園で  
やったことあるよ!



じっくりと課題に向き合う場や時間を設け、「待つこと」や「子どもたちの力を信じて見守ること」を大切にしています。



あと少し!  
自分で  
できるよ!

秋のお宝がいっぱいになったね!  
じゃあ、今日は…



自分で学習課題を設定したり、選択したりする活動を大切にしながら、「やってみたい!」「できた!」「わかった!」「もっとやりたい!」が繰り返される工夫をしています。